

第 35 回信託研究会 議事要録

日時：2020 年 9 月 12 日

場所：大屋事務所

出席者：今井、黒田、大屋（議事録作成者）

◆検討事項

1. 信託を用いた特許権譲渡の検討

特許権譲渡において、製法特許の場合のように特にノウハウが重要で、特許権の譲渡に際してもノウハウの提供無しには技術の移転が出来ないときは、ノウハウの移転に問題を生じるため、その対策として信託の利用ができないかということについて検討を行う。

以下の点について具体的な検討が必要である。

- ①特許権の持分を分割できるか
- ②信託契約の内容に受益者変更指図権等が必要か
- ③委託者の死亡による対策をどうすべきか

2. その他

（1）委託者が認知症になった場合、贈与契約の成立を否認されるリスクに対応する家族信託の必要性について（課税関係（損益通算不可）、信託報酬受領可能）

（2）公正取引委員会調査による転嫁消費税の是正金額に関する消費税申告及び法人税申告の理論的対応及び実務的対応について

3. 課題

以下のように、各人の課題が与えられた。

今井研究員：信託スキームとその際の信託契約の検討

黒田研究員：信託スキームにおける課税関係の検討

大屋研究員：知的財産権（特許権）の概要の整理

次回は 2020 年 10 月 17 日（土）10 時より。場所は未定。

